

芝とスギの基盤材で緑化された屋上＝浜松市中区元城町のフジヤマ元城ビルで

# 緑化事業 中心街からPR

## 緑あふれる環境づくり

中村建設(浜松市中区中沢町、中村信吾社長)など四社が共同で、建物の屋上や壁面の緑化を進めるビジネスに乗りだした。地球温暖化対策への効果が期待される事業分野だが、一般住宅への導入はあまり進んでいない。四社は中心街のビルで緑化の効果をPRすることで、「事業への理解を深めてもらえる」と将来性を見込む。



### 浜松 4社共同、ビルで実験

緑化推進ビジネスを緑化システム研究会が進めているのはほかを設立した。に、天龍造園建設(東区材木町、内山晴芳社長)フジヤマ(中区元城町、藤山義修社長)自然応用科学(名古屋市中区、堀田錠一社長)。四社で七月に有

保水性に優れたスギの間伐材を取り入れた。コストも従来製品の半分程度まで抑えられるようになったという。需要が高まれば地元産の間伐材を基盤材に使用したいとしている。研究会は今後、緑化前後のビルの使用電力量などを調べ、効果を測定。壁面緑化の試験導入も計画している。一般の見学も受け付ける。問い合わせは研究会事務局の中村建設(電053(471)3421)へ。

## 電気代の節約効果も



ビルの5階屋上に敷設されたモデル庭園。電気代節約に貢献し、景観上の効果も＝浜松市中区のフジヤマ

### 「屋上緑化」提案

「昨年7～9月の3カ月も広がってほしい」と緑化を絶賛した。比5%削減できた。浜松市内の企業が立ち上げた「環境緑化システム研究会」組織し、3年前から都市緑化の研究を進める。昨年にもものへの関心はあるものから本社ビルの屋上緑化に取り組みコンサルティング会社(市緑政課)。同研究会は「予想以上の効果。もっとほかの企業に

導入後、ビル入り口に屋上緑化を知らせる看板を置いたところ、通りすがりの市民が見学に訪れることも多い。研究会には今後、市内の環境技術関連の企業が加入するなど、拡大の動きもある。浜松市では、緑化そのもののへの関心はまだ低い(市緑政課)。同研究会は「環境対策は待ったなしの状況。個々の企業が何を植えた。通常の屋上緑化よりも敷設が容易で工費も安価に抑えている。の提案を続ける。」